

5 学年 算数科「体積」第 8 時 タブレット（1 人 1 台）



単元のめあて

複合図形の体積の求め方を考え、説明できるようにする。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ① 直方体・立方体の体積を求める公式を確認する。
- ② 複合図形の学習問題をタブレットに配信し、補助線や式などの考えを書き込む。
- ③ 提出後、各グループで考えを交流し、より良いものをグループで決める。
- ④ ロイロノートにある各グループの考えを TV に写し、全体で交流する。
- ⑤ 直方体や立方体に分けて考える方法を使い、適応題を行う。（課題を配信）
- ⑥ 補助線を引いた図形と式を TV に写し、適応題の考えを交流する。

☆タブレット活用☆

教科書の図形問題をロイロノートに取り込み各人に配信。

補助線や式などの考えを図形に書き込む。

個人の考えを個人・グループ・全体で交流する。

☆タブレット活用のメリット☆

- ・ロイロノートを使って図形に直接、補助線や式を書き込むことができる。
- ・問題の画像をコピーすれば、いくつもの考えを図形に書き込むことができる。間違えた際には修正が容易である。
- ・画面を見ながら説明できるため児童同士でも、視覚的に考えを共有しやすい。
- ・教員に提出することで、全体での交流もスムーズに行うことができた。